

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

中川裕貴
YUKI NAKAGAWA
OTOFI
SAFE
FRAME

2020.7.31 - 8.2

Play with segmentation / segregation

It listens, asks, and take effect (Iriku)

A Concert about CONCERT

You can come here and stay there



中川 裕貴

中川裕貴 Yuki Nakagawa

1986年生まれ。京都市在住。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了（音楽学／聴覚・音響心理学）。演奏と演出をチェロ／電気／適当な録音を使用して行う。演奏行為とそれによって現れる音のあいだに在る「距離」を測ること、また「演奏をしながら自身がそこ／ここでどのように存在するか」を問うこと（またそれへの頓智）をテーマとする。この矛盾した作業（動きながら自分で自分の距離を測る）が発する音楽への襲来と、音楽からの襲来について、演奏という行為を通じ考えている。

作品の題名を決めたのは、今年の1月でしたが、そこから私の頭の中にあつた作品の方向や方向、コンパスの針は都度行き先を外れたり、別のところを指したり、

今なお回転を繰り返りしています。しかしその乱調の最中にも少しずつですが「楽曲」というものが立ち現れ、その集積がコンサートというイベントへと向かっています。

情報故日々変わることで、自分がしてきたことには変わりがないこと、そのあいだで今回もやっています。

現時点でこのコンサートについて少し説明をするならば、それは「ト・モノ・音の外部と内部の孤立／関係についてのコンサート」と言えるかもしれません。これまで使用することのなかった広さのホールを、これまでの常識からは外れた「収容人数」と「距離」で、おそらくこの規模で鳴らされることなかったであろう「音楽」が鳴る。これまで私は、音楽そのものというよりは、「音楽との「距離」についての音楽／演奏」を行ってきました。演奏という行為によって現れる音とその周辺に存在する様々なイメージのあいだの「距離」について、試行／思考すること、それは本来、自分自身も関係する事柄でありながら、私はその距離を演奏しながら自分で測定しようとしてきました（このように「真面目」に記していますが、その行為自体は開けで滑稽なところがあるように思います）。そしてそのような行為から生じる音の周りの様々な「距離」が、現実を照射する。或いは全く別の場所／存在を照らす可能性について、私は想像しています。

タイトルは音の周りで立ち位置／距離に対する外部（フロント）、内部（セーフの枠組系（フレーム）から、音／音楽、そして「聴く」ことの現在地と今後の行方を探ることを表わしています。今、何処かに赴くことや何かを受け取ることは、躊躇や戸惑いを共に連れてくるような感覚が以前にも増してあるように思います。しかしそのようなシチュエーションに面しながらも、私は場所を開放し、音をここから届けることにしました。「リスク」ということを見つめながらも、この「開かれ」が別の繋がりを通してくることを期待しています。



チェロを使用した作曲 / 演奏 / 演出活動を行う中川裕貴による新作コンサート「アウト、セーフ、フレーム」をロームシアター京都 × 京都芸術センターによる U35 創造支援プログラム "KIPPU" のもと開催！

独学でチェロを学び、その視点から「チェロから生まれているとは思えない」様々な奏法を開発、また演劇・ダンスなどの舞台音楽経験から、音楽という場所に俳優や様々なオブジェクト / 現象を招くなど、音楽の内部 / 外部から特殊なアクションを試みてきた中川による、ロームシアター京都での初めての大規模なコンサート。ホール全体を巻き込む独自のサウンドデザインにはアーティストの荒木優光、そして初の試みとなる「チェロ自動演奏」の技術協力には 現代美術家の白石晃一が加わるなど、コンサートの範疇を飛び越えた規格外のパフォーマンスがサウスホールに登場します。

また本コンサートは、コロナウィルスによる感染防止対策として、開催場所をノースホール（小ホール）からサウスホール（中ホール）へと変更し、客席を 100 席以下に限定することでソーシャルディスタンスの確保を念頭に実施します。

今、このときに、あえてコンサートというかたちをとること。またこれまで中川が試みてきた音楽の内部 / 外部での実験をここでは「距離の音楽」と名付け、それを今、最前線（劇場）で上演します。演奏という行為、そこから生まれる音、そして音が放たれる場所について思考 / 試行を続けてきた中川による、「コンサート」から大きく開かれる「作曲作品」にご期待ください。

中川裕貴「アウト、セーフ、フレーム」

ロームシアター京都 × 京都芸術センター U35 創造支援プログラム "KIPPU"
主催：中川裕貴 共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市

会場

ロームシアター京都 サウスホール

出演者 / スタッフ

作曲 / 演奏 / 演出：中川裕貴

サウンドデザイン：荒木優光

出演：中川裕貴、菊池有里子、横山祥子、
出村弘美、滝月萌、武内もも（劇団速度）

舞台監督：北方こだち

技術協力：白石晃一

照明：十河陽平（RYU）

制作：富田明日香、阪本麻紀

音響：甲田徹

宣伝美術：古谷野慶輔

チケット料金

一般	3,000 円	
ユース（25 歳以下）	2,000 円	※要証明
高校生以下	1,000 円	※要証明
12 歳以下	無料	※要予約

リピート割

2 回目以降のご鑑賞は、各種料金の半額にてご覧いただけます。

※当日受付にてチケット半券をご提示ください。

※中川裕貴 WEB にて各回の前日までご予約も可能です。

※チケット完売の回につきましては、ご利用できませんのであらかじめご了承ください。

ロームシアター京都 × 京都芸術センター U35 創造支援プログラム "KIPPU"

KIPPU とは：ロームシアター京都と京都芸術センターによる U35 創造支援プログラム。

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、

京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市

令和 2 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



公演日程

7 月 31 日（金）19 時

8 月 1 日（土）13 時◎・19 時 ◎…託児サービスあり

8 月 2 日（日）13 時

＝詳細はロームシアター京都 WEB サイト
をご確認ください。

※全席自由席 受付開始・開場は各回開演の 30 分前

チケット取扱い

■ ロームシアター京都オンラインチケット <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
24 時間購入可※要事前登録（無料）

■ ロームシアター京都チケットカウンター TEL 075-746-3201
10:00 ~ 17:00 ※短縮営業中、電話・窓口とも。年中無休、臨時休業あり。

■ 京都コンサートホールチケットカウンター TEL 075-711-3231
10:00 ~ 17:00、第 1・3 月曜日 ※祝日の場合は翌日

■ 中川裕貴 WEB https://www.yukinakagawa.info/post/out_safe_frame

お問い合わせ

yukinakagawa.band@gmail.com

独自に開発されたチェロ奏法、ホール全体を巻き込む「スピーカー」、
チェロの自動演奏機構などのテクノロジーを使用した、ヒト/モノ/音によるコンサート。
ここにある、私たちの「距離」の音楽を奏で、
今、あえて、劇場という場所から「聴くこと」の行方を問う。

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto



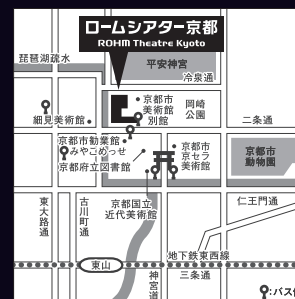
2020.7.31 - 8.2

Play with segmentation / segregation

It listens, asks, and take effect (kikku)

A Concert about CONCERT

You can come here and stay there



ロームシアター京都

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町 13